

2 研究の実際

(1) 本研究で考える自立活動の指導の進め方

自立活動の指導に当たっては、個別の指導計画を作成する必要があります。個別の指導計画を作成する際は、個々の児童生徒の実態把握に基づき、指導すべき課題を整理し、指導目標を明らかにした上で、具体的な指導内容を設定しなければなりません。「特別支援学校学習指導要領解説自立活動編」には、その流れについてのイメージをもちやすくするために例（流れ図）が示されています。

しかし、令和元年度個別実践研究で実施したアンケート結果から、小学校及び中学校等の特別支援学級においては、特別支援教育経験が浅い教師の割合が高いことや、自立活動の指導に難しさを感じている教師が多いことが分かりました。

そこで本研究では、これらの現状と課題を踏まえ、自立活動の進め方について、対象の児童生徒の実態把握から自立活動の具体的な指導内容の設定に至るまでの過程を段階ごとに分け、

図1のように示しました。また、具体的な指導内容を設定するまでの流れや、各段階で取り組む際に使用できる書き込み式のシート等を作成しました。各段階や目的に応じてシート等を使用することで、特別支援教育経験が浅い教師にとっても、一人一人のニーズを踏まえた自立活動の指導の実現につながると考えます。

ア 実 態 把 握	① 情報収集
	② 情報整理
	-1 区分に即して整理
	-2 学習上又は生活上の困難の視点で整理
イ 課 題 の 整 理	-3 将来の姿から整理
	③ 実態把握からの課題抽出
ウ	④ 中心的な課題の決定
	⑤ 指導目標の設定
エ	⑥ 項目の選定
	⑦ 項目間の関連付け
オ	⑧ 具体的な指導内容の設定

図1 本研究で考える自立活動の指導の進め方